

平成28年12月6日(火)
生活環境部環境政策課長 玉川 明
(担当:課長補佐 坂場 内線 2943)
生活環境部参事兼防災・危機管理課長 高橋 上
(担当:課長補佐 穂積 内線 2881)
農林水産部畜産課長 永田 裕
(担当:課長補佐 川上 内線 3980)

水戸市千波湖岸で回収された死亡野鳥における鳥インフルエンザ簡易検査陽性について

平成28年12月6日に茨城県水戸市の千波湖において回収されたユリカモメ1羽について、県北家畜保健衛生所が簡易検査を実施したところ、A型インフルエンザウイルス「陽性」であることが確認されましたので、お知らせします。

今後、環境省が、鳥取大学において高病原性鳥インフルエンザウイルスの確定検査を実施しますが、検査結果判明まで数日から1週間程度かかる見込みです。

なお、現時点において、病性は未確定ですのでご注意ください。

1 経緯

- ・ 午前9時40分ごろ、千波湖東側の岸辺(別紙地図参照)で個人がユリカモメ1羽の死体を発見(別紙写真)。茨城県県北家畜保健衛生所で簡易検査を実施したところ、陽性と判明。

2 今後の対応

【生活環境部】

- ・ 環境省により千波湖を中心として指定された野鳥監視重点区域(当該死亡野鳥が回収された場所を中心とする半径10km圏内)において、野鳥の監視を強化する。
- ・ 野鳥監視重点区域該当市町村:水戸市,ひたちなか市,笠間市,那珂市,茨城町,城里町,大洗町(大洗町は新たに追加)

【農林水産部】

- ・ 県内全ての養鶏農家(約240戸)に対し、直ちにファックス等による情報提供と注意喚起(本日中)
- ・ 電話等により、野鳥監視重点区域に合わせて半径10km圏内の飼養家さんの異状の有無の確認,異常家さん発生時の早期通報の徹底指導
- ・ 畜産関係団体に対し、情報提供をするとともに農場等への指導を依頼

<参考>関連情報

- 環境省のホームページ (http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)